

めぐみイエス・キリスト教会

2021年5月30日(日)第五主日礼拝
週報「通算第559号」



2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌435「罪に沈む汝が友に」	p. 702
【交読文】	No.7詩篇第23篇	p. 884
【賛美Ⅱ】	新聖歌416「聖霊来たれり1, 2, 5節」	p. 668
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル賛美No.4「天には救いの喜び」	
【聖書朗読】	使徒の働き2章14節～41節抜粋(新約p. 234)	
【礼拝説教】	《朝の九時》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」	p. 236
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

◎本日の聖書箇所【使徒の働き2章14節～41節抜粋】

2:14 ペテロは十一人と共に立って、声を張り上げ、人々に語りかけた。「ユダヤの皆さん、ならびにエルサレムに住むすべての皆さん、あなたがたにこのことを知っていただきたい。私の言葉に耳を傾けていただきたい。

2:15 今は朝の九時ですから、この人たちは、あなたがたが思っているように酔っているではありません。

2:16 これは、預言者ヨエルによって語られたことです。

2:22 イスラエルの皆さん、これらの言葉を聞いてください。神はナザ

レ人イエスによって、あなたがたの間で力あるわざと不思議とするしを行い、それによって、あなたがたにこの方を証しされました。それは、あなたがた自身をご承知のことです。

2:23 神が定めた計画と神の予知によって引き渡されたこのイエスを、あなたがたは律法を持たない人々の手によって十字架につけて殺したのです。

2:24 しかし神は、イエスを死の苦しみから解き放って、よみがえらせました。この方が死につながれていることなど、あり得なかったからです。

2:32 このイエスを、神はよみがえらせました。私たちはみな、そのことの証人です。

2:33 ですから、神の右に上げられたイエスが、約束された聖霊を御父から受けて、今あなたがたが目にし、耳にしている聖霊を注いでくださったのです。

2:36 ですから、イスラエルの全家は、このことをはっきりと知らなければなりません。神が今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。」

2:37 人々はこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち、私たちはどうしたらよいのでしょうか」と言った。

2:38 そこで、ペテロは彼らに言った。「それぞれ罪を赦していただくために、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。

2:39 この約束は、あなたがたに、あなたがたの子どもたちに、そして遠くにいるすべての人々に、すなわち、私たちの神である主が召される人ならだれにでも、与えられているのです。」

2:40 ペテロは、ほかにも多くの言葉をもって証しをし、「この曲がった時代から救われなさい」と言って、彼らに勧めた。

2:41 彼の言葉を受け入れた人々はバプテスマを受けた。その日、三千人ほどが仲間に加えられた。

●ポイント1. ヨハネ・マルコの家の前に集まって来た人々とは？

※使徒の働き2章5節～13節「大きな物音を聞いて」 (新約p.234)

2:5 さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国々から来て住んでいたが、

2:6 この物音がしたため、大勢の人々が集まって来た。彼らは、それぞれ自分の国の言葉で弟子たちが話すのを聞いて、呆気にとられてしまった。

2:7 彼らは驚き、不思議に思って言った。「見なさい。話しているこの人たちはみな、ガリラヤの人ではないか。

2:8 それなのに、私たちそれぞれが生まれた国の言葉で話を聞くと、いったいどうしたことか。

2:9 私たちは、パルティア人、メディア人、エラム人、またメソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントスとアジア、

2:10 フリュギアとパンフィリア、エジプト、クレネに近いリビア地方などに住む者、また滞在中のローマ人で、

2:11 ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレタ人とアラビア人もいる。それなのに、あの人たちが、私たちの言葉で神の大きなみわざを語るのを聞くと、

2:12 人々はみな驚き当惑して、「いったい、これはどうしたことか」と言い合った。

2:13 だが、「彼らは新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、嘲る者たちもいた。

●ポイント2. 主イエスの三回目の政治的裁判において

※マタイの福音書27章15節～23節・26節「ピラトと群衆」 (新約p.60)

27:15 ところで、総督は祭りのたびに、群衆のため彼らが望む囚人を一人釈放することになっていた。

27:16 そのころ、バラバ・イエスという、名の知れた囚人が捕らえられていた。

27:17 それで、人々が集まったとき、ピラトは言った。「おまえたちはだれを釈放してほしいのか。バラバ・イエスか、それともキリストと呼ばれているイエスか。」

27:18 ピラトは、彼らがねたみからイエスを引き渡したことを知っていたのである。

27:19 ピラトが裁判の席に着いているときに、彼の妻が彼のもとに人を遣わして言った。「あの正しい人と関わらないでください。あの人のことで、私は今日、夢でたいへん苦しい目にあいましたから。」

27:20 しかし祭司長たちと長老たちは、バラバの釈放を要求してイエスは殺すよう、群衆を説得した。

27:21 総督は彼らに言った。「おまえたちは二人のうちどちらを釈放してほしいのか。」彼らは言った。「バラバだ。」

27:22 ピラトは彼らに言った。「では、キリストと呼ばれているイエスを私はどのようにしようか。」彼らはみな言った。「十字架につける。」

27:23 ピラトは言った。「あの人がどんな悪いことをしたのか。」しかし、彼らはますます激しく叫び続けた。「十字架につける。」

27:26 そこでピラトは彼らのためにバラバを釈放し、イエスはむちで打ってから、十字架につけるために引き渡した。

●ポイント3. 聖霊が来られた時に

※ヨハネの福音書16章7節～9節「もう一人の助け主」 (新約p.218)

16:7 「しかし、私は真実を言います。私が去って行くことは、あなたがたの益になるのです。去って行かなければ、あなたがたのところに助け主はおいでになりません。でも、行けば、私はあなたがたのところに助け主を遣わします。

16:8 その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世の誤りを明らかになさいます。

16:9 罪についてというのは、彼らが私を信じないからです。」

◎先週のメッセージの概要【聖霊が降られた時】

《本日は聖霊が降られたペンテコステです。しかし聖霊は、すでに降っておられたのです。主イエスが洗礼者ヨハネからバプテスマを授けられた時に、天が開け、聖霊が鳩のような形をして、イエスの上に降って来られ、天から、「あなたは私の愛する子。私はあなたを喜ぶ。」と声がしたことが書かれています。鳩のような形を見たのは、また天からの声を聞いたのは洗礼者ヨハネです。また彼の弟子であった、ペテロの弟アンデレとゼベダイの子ヨハネも、それを見ると共にその声をじかに聞いたのです。

さて、五旬節のことです。エルサレム市内にあったヨハネ・マルコの家の二階で、百二十名の主にある兄弟たちが集まっていました。時間は午前9時。この時間は、主イエスが十字架に掛かれた時と全く同じです。

その時、激しい風が吹いたような響きが起こり、そして、炎のような舌が分かれて現われました。この時にも、耳で聞こえ、また目で見える形で、聖霊が降って来られました。それは、紛れもなく、使徒たちの為にです。彼らに預言が成就したことを明確に認識させ、またそのことを忘れさせない為にです。主は、最後の晩餐において、使徒たちに約束されました。『「私が父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与え下さり、その助け主がいつまでも、あなたがたと共にいるようにして下さいます。この方はあなたがたと共におられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです。』と。この約束は、今生きている私たち一人一人にも当てはまります。そしてすでに、私たちに成就しているのです。主イエスが復活されたその日の夕方、弟子たちがユダヤ人を恐れて戸に鍵をかけ、潜んでいた時でした。突然主が来られて彼らの真ん中に立ち、こう言われたのです。「平安があなたがたにあるように。聖霊を受けなさい。」と。

ここから聖霊に満たされるならば、本物の平安が与えられると言う事です。私たちは、永遠の命を、そして主にある平安を持っています。このお方によって私たちは、神の子どもとしての証印を押されているのです。》

◎お知らせ

※次回主日礼拝は6月6日(日)教会にて通常とおりに行ないます。聖書勉強会・祈り会は6月2日(水)各家庭にて行ないます。